



# 収穫までの管理作業



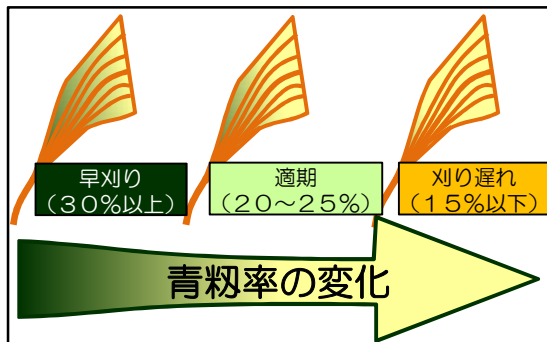
(適期収穫と坪枯れ防止で収量・品質を向上させましょう!)

## 1. 適期収穫・乾燥調製～収量・品質は最後の作業で確定します!～

### ＊ポイント

収穫適期は、穂全体の青籾率で判断

＊収穫適期の青籾率及び出穂後日数のめやすは、右表のとおりです。



品種別の、収穫適期の青籾率及び出穂後日数

| 品種名   | 青籾率    | 出穂後  |
|-------|--------|------|
| ひとめぼれ | 20%    | 42日頃 |
| ヒノヒカリ | 20～25% | 44日頃 |
| あきまさり | 20%    | 49日頃 |

- ・早過ぎる落水は、白未熟粒等の発生による品質低下の原因となります。排水不良田を除き、収穫の10～7日前まで間断灌水を続けましょう。
- ・収穫後は速やかに乾燥し、籾水分14.5～15%に調製しましょう。

## 2. トビイロウンカ防除～多発年は坪枯れによる減収の恐れあり～

### ＊ポイント

＊トビイロウンカは成虫・幼虫ともにツヤのある茶色の害虫です。

#### ①トビイロウンカの防除時期及び薬剤

| 防除時期                                 | 薬剤名                          |
|--------------------------------------|------------------------------|
| 飛来情報が出た場合                            | スタークル粒剤等                     |
| 株元で幼虫または成虫（細長い長翅型・丸い短翅型）が1頭でも見付かった場合 | ビームエイトスタークルゾル、ビームスタークル粉剤5DL等 |

#### ②坪枯れが発生した場合は刈り分けし、品質維持を優先

本年はトビイロウンカの飛来が早く、収穫期の多発が警戒されます！  
飛来情報及び発生状況に注意し、被害防止に努めましょう！

## 3. 機械作業は安全第一～普段から、余裕を持って慎重に～

### ＊事故防止のポイント

- ①作業前後の点検で不具合防止 ＊故障の早期発見につながります。
- ②体型に合った作業服の着用 ＊タオル等は別途収納しましょう。
- ③作業は安全を確認してから ＊機械の動く範囲は立入り禁止です。
- ④不具合はエンジン等が止まってから調整 ＊事故の多くがこの時です。

・収穫時に手こぎを行う場合は、必ず素手で作業しましょう。